

# en-JoY

	代表者	芳川里奈（医学B 5年）	
構成員	小川裕子（医学B 5年）	梶間未葵（医学B 4年）	西尾友里（医学B 4年）
	岡崎紗世（医学B 3年）	角村真紀（医学B 3年）	
	川畑早紀（医学B 3年）	桑田朋子（医学B 3年）	
	田村友里（医学B 3年）	中島京（医学B 3年）	
	村田真美（医学B 3年）	森麻里母（医学B 3年）	
	吉弘涼子（医学B 3年）	梅田滉弥（医学B 2年）	
	加藤優里（医学B 2年）	村尾仁美（医学B 2年）	

## 1. en-JoY の目的

en-JoY は男女共同参画の理念のもと、人と人との縁(en-)を大切にしながら、女医(JoY)としてしっかりと働ける社会をつくる、つまりは医療現場が男女関係なく働きやすい環境となることを目指しています。そのために、医師・学生間の相互理解を深める機会を提供し、私たち学生が学生のうちからキャリアについて考えるとともに将来医師として医療の一端を担っていく自覚をもつことを本活動の目的としています。このために今年度は①学外活動にて他大学の学生と②医師学生交流会で医師と③広報誌等にて学生間で、目的を「共有」するための活動を展開しています。

## 2. 2012 年度の活動

- ①女子医学生インターンシップの手伝い
- ②en-JoY meeting の開催
- ③医師・学生の交流会の開催
- ④九州大学病院きらめきプロジェクト学生交流会への参加
- ⑤en-JoY Letter の発行
- ⑥山口県医師会男女共同参画部会総会への参加

## 3. 女子医学生インターンシップの手伝い

女子医学生インターンシップは山口県医師会男女共同参画部会が主催の行事で、山口県内の女性医師のもとで女子医学生が夏季休業中の1日～1週間、研修を行うというものです。en-JoY は地域医療推進学講座の手伝いとして、女子医学生から参加者を募りました。今年度は2年生10名、3年生20名、4年生6名(県外学生1名含む)、5年生4名の計40名が26の医療機関にて研修を行いました。インターンシップに参加した女子医学生からは、「先生の仕事を目の当たりにし、自分の将来のキャリアについて考えるきっかけとなった」、「女性医師ならではの話を直接聞いて参考になった」という声が上がりました。女子学生が学年の半分以上を占める2、3年生の参加が多く、学校で臨床医学を学ぶ前に臨床を垣間見ることができる貴重な機会となったようです。「女性医師として」の将来を考えることが先行してしまいがちな我々の活動ですが、「女性であること」をふまえた上で、まずは「一人の医師として」の自分を想像することが必要だと考えています。

## 4. en-JoY meeting の開催

昨年度2月の第1回en-JoY meeting に次いで、第2回en-JoY meeting を7月13日に開催しました。テーマを「仕事はきちんとする！でも家庭も…。こんな時、どうする?!」とし、ある医師夫婦の悩みについて医師と学生で話し合い、仕事を続けていくためにはどのような働き方が可能かを考えることを目的としました。

事前準備では役割分担のもと、各自で会の企画進行、装飾、宣伝を行いました。進行状況の報告・メンバー間での共有のため、全体の集まりを2回設けました。

当日は、医師7名・学生20名の参加がありました。先生方と学生とのグループディスカッションでは、悩みという具体例を挙げることで、活発な意見交換となりました。先生方の体験談を聞いて将来を具体的に想像できた、

フリートークでは普段話せない先生方とざっくばらんな話ができ、有意義だった等、参加学生にも好評でした。第1回の反省点も踏まえ、目的を少しでも達成できる会であったと思います。



en-JoY meeting (グループディスカッション)



en-JoY meeting (グループディスカッション・発表)

## 5. 医師・学生交流会の開催

10月20日土曜日に開催しました。毎秋1回開催している、先輩医師と医学生の交流会です。5回目となる今年度は「具体的な夢へ～医学生・医師としてのこれからのイメージしよう～」をテーマに、2人の医師にご自身のキャリアについて講演していただきました。さらに、質疑応答では、参加していただいた医師全員から回答していただくことで、様々な立場の意見を聞くことが出来ました。フリートークの時間では、医師と学生のあいだで活発な意見交換が行われ、「もっと時間をとってほしい」という声もありました。

参加学生からは、先輩医師から多種多様なキャリアがある事を教えてもらった、卒後研修など曖昧な部分を学

ぶことができ不安解消に繋がったなど、自身の進路を考える良い機会になったという感想が寄せられました。

また、今回は医師 10 名、学生 35 名の参加があり、昨年度の反省を踏まえた事前準備や宣伝の効果がみられました。医師と学生が話し合う機会は色々な場面であると思いますが、このように明確なテーマを掲げることにより、医師と学生のあいだの意見交換もしやすくなると考えています。次年度以降も私たちからテーマを提案しながら交流会を開催し続けたいです。



医師学生交流会（講演のようす）

#### 6. 九州大学病院きらめきプロジェクト学生交流会への参加

昨年・一昨年に引き続き、11月28日に、九州大学病院きらめきプロジェクト学生交流会に参加しました。この会は、医学科・保健学科・歯学科の学生を対象としており、「今、きらめいていますか？」をテーマに、講演とパネルディスカッションが行われました。会の最後には、en-JoYの発言の機会をいただき、en-JoYの活動の紹介に加え、全国規模での女子医学生のネットワークの構築を提案しました。

懇親会では、九州大学の学生と、普段の学生生活の話から自分の大学の学生の活動についてなど情報交換し交流を深めました。



きらめきプロジェクト学生交流会（en-JoYの発言）

## 7. en-JoY Letter の発行

en-JoY Letter とは、en-JoY の活動報告新聞であり、主に医学科の学生を対象に、学生が情報を得るひとつの手段として、また en-JoY の活動についてより深く知ってもらい学生と「共有」するために、作成しています。医学科全学年に加え、活動先等で配布します。第3号となる今回は、3月に発行しました。今年度の en-JoY の活動報告に加え、男性医師からのメッセージなどを掲載しました。今後も不定期ではありますが、情報を発信し続けたいと考えます。

## 8. 山口県医師会男女共同参画部会総会への参加

各郡市医師会男女共同参画部会の活動報告、長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンターのセンター長・伊東晶子教授の特別講演、フォーラム、懇親会が行われました。フォーラムでは医師がキャリアを継続するためのワークライフバランスについて、開業医・勤務医・男性医師の立場から、実際の経験に基づいたお話があり、大変参考になるものでした。このように、毎年学生にとっても、面白いお話が聞くことが出来るのですが、先方から学生への連絡は特になく、私たち en-JoY がその役目を果たしています。学生でも参加可能であることを呼び掛け、キャリアについて考える機会づくりに繋げていきたいと考えています。

## 9. 今後の展望

これまでの努力により、en-JoY という名前は少しずつ認知されてきましたが、私たちの活動の目的が正しく理解されているかは分からず、この活動に対する偏見や誤解はまだ残っていると感じます。そのため、活動を継続・発展させ、学内・県内における en-JoY 活動の理解をより深めることが必要だと考えます。また、今年度はこれまで企画してきた活動を継続することを中心に行ってきましたが、発足当初より、全国規模の活動へと発展させることが私たちの望みです。そのため、来年度以降、より具体的な他大学との連携を実現していきたいです。このように、学内・県内での基盤を確立しつつ、私たちを中心とした他大学とのネットワークを形成していけたら、と思っています。そして、私たちの活動はこれまで、女性を中心としたものでした。しかしながら、よりよい医療環境の実現には、男女が協力し問題を解決していくことが必要不可欠です。そのため、私たちの活動でも、男女双方が尊重しながら医療を考えていけるような企画を提案していければと考えています。